

米国の製材工場をまた買収

年間生産能力32億BFに

インターフォー

インターフォーは製材資源が豊富な米国で製材工場の買収を積極的に行っており、昨年だけで、米国の大手製材企業、シンプロンラバーとトルソラバーの2件の買収を行っている。

今回の買収で、インターフォーの生産工場はカナダ、米国両国で19カ所となる。モンテイエロ製材工場は米国アーカンソー州の南部に位置し、年間製材生産量は7500万BF（実材積換算約12万4000立方尺）。同工場は新たな生産設備へ

の投資も進められており、新設KD施設も15年第三・四半期には完成予定だ。これらの設備投資により、同工場の年間製材生産量は1億BF（同約16万5000立方尺）に、年間のKD乾燥能力は1億5000万BF（同25万立方尺）まで上昇する。

モンテイエロ製材工場の買収で、インターフォーの年間生産製材能力は32億BF（同約528万立方尺）となる。ダンカン・デビス社長CEOは今回の買収について、「米国の南東部は製材資源量が

インターフォー（カナダ、ダンカン・デビス社長CEO）は7日、米国の製材企業のプライスカンパニーが保有する米国アーカンソー州のモンテイエロ製材工場を買収することで両社が同意したと発表した。製材工場の買収金額は、2925万5000米ドル（日本円約35億8500万円）で、6月中には買収を終える計画だ。

豊富で製材消費地にも近い。当社の成長シナリオに適った買収だった」とコメントしている。

製材企業の買収を積極的に行っているが、インターフォーの3月末時点での自己資本比率は66%で、なお財務の健全性は維持している。今回の買収に当たっては銀行から1億7000万ドル（日本円約204億円）の追加信用枠を設定し、買収金額に充当したとしている。